

JST紹介と特許技術概要

～科学技術の振興と社会的課題解決に向けて～

JST Introduction & Patent Technology Overview

～ To Develop Science & Technology and Provide Solution for Social Issues ～

JSTの役割と主な活動

【JSTの役割】

- 科学技術振興機構（JST）は、日本の科学技術・イノベーション基本計画の中核的な役割を担う機関
- 科学技術の振興と社会的課題解決のため、国内外の大学や研究機関、産業界等と連携した多様な事業を総合的に実施し、社会の持続的な発展と科学技術・イノベーションの創出に貢献

【JST知財集約・活用グループの役割と主な活動】

役割

- 日本の大学や研究機関で発明された技術をもとに、日本だけでなく海外（米国、欧州、中国など）にも特許出願し、技術を保護
- JSTの保有特許は約2,500件
- ライセンス等、特許の活用を通じて発明技術の社会実装を推進

活動

- 社会変革に資する研究開発による新たな価値創造の推進

- 産学が連携した研究開発成果の展開
- 知財活用への支援
- ベンチャー創出への支援
- 共創の『場』の形成支援

知財活用支援プロセス(例)



特許技術概要

【特許ポートフォリオ（バイオ・メディカル関連）】

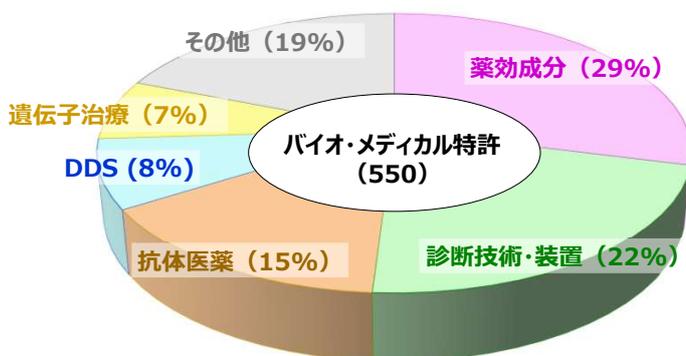


図. バイオ・メディカル関連特許ポートフォリオ

【特許例】

- 新規SN-38誘導体
- V-ATPase阻害剤
- PolyQ病用L-アルギニン
- 新たなPPAR δ アゴニストによるフレイル対策
- 核酸結合性タンパク質
- 神経細胞ネットワークHTS装置
- 動的ネットワークバイオマーカー (DNB)
- スーパー抗体酵素
- 核酸医薬用DDSナノ粒子RION
- 生体粒子ボルト誘導体
- 薬物送達を可能にする微細藻類イデユゴメ
- 細胞内標的結合性抗体を細胞内へ送達可能な脂質ナノ粒子
- 非ウイルス性遺伝子治療
- 双性イオン化合物を用いた細胞の凍結保存
- 三次元パターンを用いた細胞識別・分離基材
- ZIC5阻害抗がん剤
- ナノプロドラッグ
- HMGB1阻害オリゴ核酸

連絡先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
知的財産マネジメント推進部 知財集約・活用グループ
電話：03-5214-8486 メール：license@jst.go.jp
URL：www.jst.go.jp/chizai/

約2,500件！
JST保有特許リストは
こちら

<https://www.jst.go.jp/chizai/patent.html>

